

2013年9月6日(金)

協和エクシオ、山梨県韮崎市のメガソーラー発電施設が完成

～当社初のメガソーラー発電施設が稼働～

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、環境事業の一環として、太陽光発電システムの設計から施工、運用システムの構築に至るまでの設備設置工事、さらには再生可能エネルギーの固定価格買取制度による売電を実施する発電事業を展開しておりますが、このたび、株式会社内藤ハウス（所在地：山梨県韮崎市、代表取締役社長：内藤篤、以下「内藤ハウス」）と山梨県韮崎市に建設していた、当社初のメガソーラー発電施設「新府ソーラー発電所」が完成しました。

完成した「新府ソーラー発電所」は、約2万7,000平方メートルの敷地内に約5,700枚の太陽電池モジュールを設置し、出力約1,400kW、年間発電量で一般家庭の約440世帯に相当するメガソーラーによる発電を実施します。

また、施設見学者向けに発電量表示板や環境教育用学習パネルなどの設備を設置した学習エリアを設けるほか、エリア放送（ワンセグ放送）設備を構築し、施設内に視聴可能なエリアを設け、ワンセグによる発電設備の紹介や韮崎市の観光情報などを提供します。

今回の施設建設および発電事業は、韮崎市が資産の有効な利活用、地球温暖化対策および財源確保の一環として、同市の市有地を貸与し20年間にわたり太陽光発電施設の設置から運営までを行う事業者として、当社と内藤ハウスの連合体が公募型プロポーザル方式により選定され、実施に至ったものです。

当社では、メガソーラーをはじめとする太陽光発電設備の設計・施工を手掛けるとともに、発電事業にも注力しています。発電事業に関しては、すでに当社「府中総合技術センタ」（東京都府中市）で稼働を開始しているほか、現在も山梨県甲府市、千葉県南房総市でメガソーラー施設の建設工事を実施していますが、メガソーラーの稼働に関しては今回の「新府ソーラー発電所」が最初の施設となります。

「新府ソーラー発電所」の施設概要は以下の通りです。

≪「新府ソーラー発電所」施設概要≫

施設名称：新府ソーラー発電所

所在地：山梨県韮崎市中田町中條字藤塚2825番外

施設規模：全体用地面積 27,507.28㎡（公簿）

(1) 太陽光発電設備

太陽光パネル出力 約1,386kW

太陽光パネル枚数 5,656枚

年間発電量（見込み） 約1,500,000kWh／年

(2) エリア放送（ワンセグ放送）設備

発電事業者：株式会社協和エクシオ

株式会社内藤ハウス

工事期間：自2013年2月～至2013年8月

施工者：株式会社協和エクシオ

株式会社内藤ハウス

【エリア放送（ワンセグ放送）設備概要】

視聴可能エリア：新府ソーラー発電所 学習エリア内

視聴可能時間：常時

チャンネル：47チャンネル（UHF）

放送内容：

1. 音声・映像
 - ①学習用
 - ②菫崎市観光 PR 用
2. データ放送
 - ①新府ソーラー発電所 設備概要
 - ②新府ソーラー発電所 発電状況
 - ③発電事業者紹介（ホームページリンク）



写真は、「新府ソーラー発電所」

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室

電話：03 - 5778 - 1075（直） FAX：03-5778-1228

担当：高柳 圭伸